

解答

一 問一 ア シュ イ しょくりん ウ キゅうしゅう エ あたた 「か」 オ カんめい
 問二 あ 生態 い 連帶 う 齒車 え 発揮 お 単純
 問三 多くの種が すぎない。
 問四 第一の自然と、第二の自然を統一して、他者との共存の中で生きる（こと）

問五 問六 問七 問八 問九 問十 問十一 問十二 問十三 問十四

A 自然的存在 B 自然 C 外界 D 交流

イ アメニティ ⑨ 「悲しい」

力ネというひとつの中だけに支配されること

日本では、技術や生産力の価値があまりに支配的になってしまっているため

第一の自然 E 客観的

問七 問八 問九 問十 問十一 問十二 問十三 問十四

A 生産 B 第二の自然 C 表現形式 D 第一の自然 E 客観的

イ X エ Y オ Z イ A ア B エ

ア 発生 イ 想定外 ウ 防災 エ 予知 オ 不断

解説

一

問七 線部④を含む一文に、「外の自然と交流しあう、情緒的で、感覚的な、あるいは食欲や性欲という生命の表現をはじめとする身体的な」という記述があるので、ふさわしくないものは選択肢イであることがわかります。

問十 線部⑥を含む段落で、アメニティとは、あるべきところに、あるべきものがある、ということだと説明し、「日本では、技術や生産力の価値があまりに支配的になってしまっているため」、「あるべきもの」も「あるべきところ」も、わからなくなつていると理由を述べています。

二

問一 問二 問三 問四 問五 問六 問七 問八 問九 問十 問十一 問十二 問十三 問十四

ア 地震が起こつたことを説明する言葉が入るので「発生」が適切です。
 イ 「巨大地震」という語を含む「そんな中で」で始まる一文から「想定外」が入ります。
 ウ 「大災害が起きると個々の防災意識はいつとき高まる。しかし、いつしか走るのをやめてしまふ人も少なくはない。」の部分から「防災」が入ります。
 エ 最後の段落の「地震の予知は『見果てぬ夢』らしい。」という記述から「予知」が適切です。
 オ 最後の段落の「不意の地震に不斷の用意」から「不断」があてはまります。